

## テメキュラ市 訪問記①

今年の7月25日から8月5日の日程で、大山町の姉妹都市アメリカのテメキュラ市を中学生8人が訪問しました。交流事業の感想文の一部を数回に分けてご紹介いたします。

今回は、大山中学校3年生の山崎美月さんの感想文です。



▲ホストファミリーと一緒に

### 一生の思い出

大山中学校 3年

山崎 美月

私は、事前研修が始まったところに2つの目標を立てました。それは英語を学んでくることと、日本とアメリカの違いをたくさん見つけてくることです。今回、その目標を達成することができたと思っています。

まず、英語を自然に聞きとることができるようになりました。4日目を過ぎたあたりからだんだんと耳が慣れて、人の話を理解できるようになりました。その頃からホストファミリーとの会話が、増えて、テメキュラ市での生活が楽しくなってきました。

そして、日本とアメリカの違いについては、思っていた以上にたくさんあり驚きました。例えば、税金についてです。アメリカでは各州で法律が異なっていて、集めた税金は、日本のように一度に一箇所へ集められるのではなく、

州や市などで集めて使われます。市の議員さんの人数も、たったの5人だと聞いてとても驚きました。

アメリカでは、毎日のようにいろいろな施設を見学したり、訪問したりしました。その中でも、マルガリータミドルスクールでの学校説明が興味深かったです。

アメリカの中学校の授業制度は日本の大学と似ていて、クラスがなく、生徒が好きな先生や授業内容を選んで教室を移動するそうです。私は学校の説明を聞いたり、教室を

見て回ったりしているうちに、「日本の中学校もアメリカに習った方が良いのではな

いか」と思いました。その理由は、どの教科の先生もみんながんばっていると思ったからです。生徒はそういう先生の頑張っている姿を見て、先生を尊敬し勉強も頑張るのだと思います。

ホームステイ中、ホストファミリーは、私にとっても優しくしてくれました。私がホームシックになってしまった時、ホストファミリーもホストマザーも優しくなぐさめてく

れました。特に、ホストファミリーの「自分の家族も、日本と同じくらい離れているところに住んでいるから、その気持ちとはとてもよくわかるよ」と言ってくれた言葉が、心に響きました。

アメリカで楽しく過ごすことができたのは、ホストファミリーがいてくれたおかげだと思います。そして、これからもメールでやりとりをして、家族ぐるみで交流をしていきたいです。

私は、この研修で数えきれないほどたくさんの方のことを見たり、学んだりすることができました。今度はその生活に活かしていきたいと思えます。

また、今後このテメキュラ市との交流が続いていくように、後輩たちにテメキュラ市での楽しかった思い出をたくさん話したいと思えます。



▲テメキュラファイアーステーション訪問